

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

【児童発達支援】

公表:令和6年2月16日

事業所名:児童デイサービスセンターおひさま

保護者等数(児童数) 18家庭 回収数 15 割合 83%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応	
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	13	1			・未回答 1 ・十分に走りまわれるスペースがある。 ・座って遊ぶ子、走って遊ぶ子等、二手に分かれた時に少しせまく感じる。 ・トイレの数を増やして欲しい。	利用人数、子どもの状況に合わせたグループ編成を行うようにしています。また、新設の際に検討したいと思います。	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	14	1			・適切かはわからないが、満足している。 ・二人一緒の活動の時も安心して見れる。	配置基準は10:2ですが、おひさまでは10:4で職員配置を出来るようにしています。また、各専門職の先生に月1回参加して頂いています。対象曜日でない場合でも参加が出来るようにしています。職員も専門性を高められるよう、勉強していきたいと思っています。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	10		5			・目で見えてわかる工夫がされている。	設備が不十分な部分はあると思います。環境に関しては今後も調整出来るよう心掛けるようにします。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	12		2	1		・トイレも古いけど結露を防ぐ対策などもしてもらっていてありがたい。 ・トイレが子どもにあっていない。 ・トイレの数を増やしてほしい。	・設備が不十分などありますが、出来る部分として心のバリアフリーを考え配慮するようにしています。また、新設の際に検討したいと思います。 ・活動終了後に、活動室内、トイレ等の清掃、子どもたちが使用した玩具の消毒を行っています。今後も徹底していきたいと思っています。
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	14				・未回答 1	個別支援計画に基づき支援を行っています。今後も活動前の打ち合わせの際に個別支援計画の確認も行うようにしていきたいと思っています。	
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	15						
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	15					・もう少し文字や数字の入った活動もしてほしい。	子どもの状態に合わせて、活動内容を検討して提供しています。
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	12		2			・未回答 1 ・天気や気候、季節のイベントなど色々組み合わせてもらっている。	月の計画で活動内容が固定化されないようにしています。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	12		1	1	1	・保育所と交流もある。	保育所の園庭を活動で使用する際に交流が図れるようにしています。また、登録児のほとんどが幼稚園・保育園・認定こども園に併行通園している状況です。
	10 幼稚園・保育所・認定こども園とおひさまの連携が取れているか	15					・とれている。とても助かる。 ・幼保連絡会の内容についてくわしく話が聞けてありがたいです。	年2回連絡会を行い、連携を図るようにしています。今後も連携を図り、よりよい園生活が送れるよう支援計画を立てていきたいと思っています。
11 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	15							
12 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	15							
13 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	14		1			・ペアレントトレーニングがわからない。	基本家族通園で活動し、懇談会を通して講師を招いての勉強会や年2回の療育相談の実施、活動終了後に振り返りの時間を設けた事がおひさまとしてのペアレントトレーニングと考えています。	
14 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	15					・成長の1つ1つをしっかりと教えてもらっている。	活動終了後の振り返りや個別に話をする時間を設けています。	

保護者への説明等	15	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	15				・困っていることなどを相談しやすく親も学びの場になっている。	
	16	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	13				2 ・子と親の顔を覚えることが出来る。 ・他の親との関わる機会はあるが、自分達が参加していない。(家都合にて)	昨年度に引き続き、感染症拡大防止の為、放課後等デイサービスと合同での懇談会は出来なかつたです。父母の会は設立していませんが、分離や懇談会を通して保護者同士のコミュニケーションが図れるよう心掛けています。必要に応じ職員が入る事もできるので声を掛けて頂ければと思います。
	17	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	15				・忙しい中、なるべく早く時間を作ってもらえる。 ・毎回ベテランの先生がいるわけではないのでなかなか相談できない時もある。	今後もよりよい支援に繋がるよう、研修等を通して学びの機会を持ち、いつでも相談に応じられる体制を作っていきたいと思ひます。また情報提供を行い、関係機関との連携を大切にしていきたいと思ひます。
	18	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	15				・とても配慮されている。	
	19	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	15				・毎日予定を伝えてもらえる。	おたよりは毎月25日まではホームページにアップできるように心掛けています。
	20	個人情報の取扱いに十分注意されているか	15				・されていると思う。	取扱いには十分注意を払い対応します。
非常時等の対応	21	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	12	1	1	1		掲示等を通して周知しています。また、訓練を実施した際は、振り返り等でもお伝え出来るようにしていきたいと思ひます。
	22	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	13	1	1		・地震の時に物や棚が倒れる心配は少ないが、建物が古いので天井とかが心配。	事業所としては毎月避難訓練を実施しています。
満足度	23	子どもは通所を楽しみにしているか	14	1			・楽しみだと言っている。 ・本人の感情が言葉で言えないためわからない。 ・幼稚園よりおひさまに行きたいと言っています。自由に行けるため。	子どもたちが「楽しい」と思えるような活動を心掛けています。個別の中で保護者にお伝え出来るよう心掛けています。何かあればいつでも面談等の時間を作りたいと思ひます。
	24	事業所の支援に満足しているか	15				・満足している。 ・安心して任せられます。活動を見る機会が少なくてすみません。	安全面に配慮し活動が行えるようにしています。今後も保護者からの意見要望を懇談会や日々の活動を通して伺い、活動に活かしていきたいと思ひます。

○ この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における自己評価結果(公表)

【児童発達支援】

公表:令和6年2月16日

事業所名:児童デイサービスセンターおひさま

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		・人数が多い際に、トイレが込み合うことが時折ある為、順番等工夫しています。また、密にならないように活動内容を工夫しています。 ・自由遊びの際も玩具を数ヶ所に用意し、広げて提供することで、集団や個人のスペースを確保している。	
	2 職員の配置数は適切であるか	○		配置基準を満たし活動を行っている。また、定期的に専門職の先生に来て頂いています。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか		○	幼稚園・保育園・認定こども園により近い環境を提供することで、スムーズに就園に移行できるようにしています。	室外・室内に関しては段差がある等整備が不十分なところがありますが、できる部分として心のバリアフリーを考え配慮するようにしています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		・トイレの数が少ない為、込み合わないよう、順番等工夫しています。 ・毎日、活動後に掃除を行い、週末には空気清浄機等の掃除もおこなっている。活動室は、子どもたちの集中が途切れないよう、最低限の掲示物のみを貼っている。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		日々の振り返りや月1回の会議を通して見直しを行っています。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			今後も、年1回継続してアンケートを行い、業務改善に繋がります。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		自己評価の実施を行い、HPにて公開しています。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		常に外部研修や内部研修に参加できるようにしています。専門職の先生からの意見も取り入れながら学ぶ機会を設けています。	
	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		連絡表や個別支援計画書、日々の振り返り等を通してニーズに基づく計画作成を行っています。外部で行われたアセスメントツール等結果も情報共有して支援の参考にしています。必要に応じて感覚プロフィールを実施して評価しています。	
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		外部で行われたアセスメントツール等結果も情報共有して支援の参考にしています。必要に応じて感覚プロフィールを実施して評価しています。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		児童発達支援管理責任者を中心に検討会議を行い作成しています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		個別支援計画を全職員が確認を行い、共通認識の元、支援ができるようにしています。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		素案を元に参加スタッフ全員で行っています。また、専門職の先生方にも相談し活動を考えています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		季節の行事等も取り入れながら、月の計画が固定化されないようにしています。また、月齢や子どもの様子に合わせた活動を工夫しています。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	○			
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		ケースカンファレンスを行い、共通理解の元対応できるようにしています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		活動終了後に保護者との振り返りを行い、その後スタッフ間でも振り返りを行っています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		個人記録、全体記録をとっています。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			日頃、保護者と会話の中で行っているが、定期的に行っていないケースもある為、見直していきたいです。
関係機関や保護者との連携関係	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		関係機関との会議を通して、連携が図れる体制を作っています。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		年2回の幼保連絡会を行い連携を図っています。必要に応じて電話でも連携を図っています。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		移行支援シートと併せて、就学先が決定した後、連絡会を行い連携を図っています。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		外部研修や公開療育等を通して連携を図っています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		同法人の保育園の園庭を利用した活動や行事を行っています。3歳以上の子どもは全員幼稚園、認定こども園、保育園に就園しています。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		法人関係者が子ども・子育て会議の委員、管理者が子ども部会の委員になっています。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		基本家族通園を行っており、活動終了後保護者と振り返りを行っています。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		基本家族通園で活動し、年4回の懇談会を通して講師や専門職を招いての勉強会や年2回の療育相談の実施、活動後に振り返りの時間を設けています。また、年8回OT・STとのミニ勉強会を取り入れるようにした。	
	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に説明を行い、書類もお渡ししています。	
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		保護者が自由に見れる場所にガイドラインと評価表を掲示してあります。初回はガイドラインを提示しながら個別支援計画の面談を行うようにしています。	
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		日々の振り返りや個別支援計画を通して、話す機会を設けています。希望がありましたら、随時面談を行っています。	
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			父母の会は設立していませんが、分離の活動や懇談会を通して、保護者同士のコミュニケーションが図れるように心掛けています。
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		ホームページ等でお知らせしています。25日までにはアップできるように心掛けています。	
	38 個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		今年度は感染症対策の為、行事の際等に、地域の方の協力を得ることは難しかったです。今後も地域との交流を持ち協力等を得ながら関係性を築いていきたいです。
非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		掲示等を通して周知しています。年に1回総合避難訓練を行っています。	
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		事業所としては、毎月避難訓練を行っています。	
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		契約時に連絡表に記載してもらい、確認をしています。	
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		医師の指示書の元、除去食の提供をしています。	
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		外傷記録簿や個人日誌に記載し、朝礼で伝達を行うことで再発防止に努めています。	
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		研修会に参加することや必要に応じて関係機関と連携を図っています。	
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			基本、身体拘束は行っていません。

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。